

図書館だより 2019 2月号

昭和学院中学・高校図書館



2018年度 個人別貸出冊数ベスト10の発表～

2018年4月から2019年1月初めまでの本校図書館の貸出数を調べました。あなたは、今年は何冊読めましたか？ベスト10入りの生徒のみなさんには図書館から賞状が届きますので待っていてください。学校の本以外でも、家の本、公立図書館の本、購入した本等でたくさん読んだ人もいます。今後も学校の図書館の活用とあわせて読書に親しんでくださいね！

順位	名前	冊数	順位	名前	冊数
1位	3年J組 Tさん	68冊	6位	1年3組 Sさん	41冊
2位	1年3組 Nさん	67冊	7位	1年3組 Kさん	35冊
3位	2年4組 Tさん	57冊	8位	2年L組 Kさん	33冊
4位	1年2組 Bさん	43冊	9位	1年1組 Kさん	29冊
	1年4組 Hさん	43冊		2年1組 Iさん	29冊
5位	3年K組 Yさん	42冊	10位	3年K組 Sさん	28冊

2月はこんな月！豆知識の巻

2月は如月（きさらぎ）と呼ばれています。これは「着物をたくさん重ね着する」という説や陽気がよくなってきて「気さらんきたる」の意味からの説などがあります。暦のうえでは立春から春となりますが、まだまだ寒さが厳しい月です。暖かい部屋で読書などいかがですか？

（参考資料：『日本と世界の365日なんでも大事典』/ポプラ社）

こんな本があるよ 季節の本紹介!

今回は「節分」に関連して「鬼」の出る本を紹介します。みなさんは今年、豆まきをしましたか？節分の夜は、節目のすきについて鬼が練り歩くともいわれ、「鬼は外、福は内」といいながら豆をまいて、鬼や悪いものを追いはらったことにするそうです。ふだん手に取らない「鬼」の登場する本を読んで、日本の伝統行事について考えてみませんか？本は図書館中央展示にて紹介しています。貸出もできます。(参考資料: 年中行事事典/岩崎書店)



列1	書名	著者	出版社	分類
1	鬼子母神	ひろさちや (原作)	すずき出版	180
2	行事むかしばなし・二月 鬼といりまめ	谷 真介 (文)	佼成出版社	386
3	行事の由来えほん せつぶんだ まめまきだ	桜井 信生 (作)	教育画劇	386
4	鬼の風土記	服部 邦夫	青弓社	388
5	鬼のやま水 現代民話集	水上 勉	小学館	388
6	落語 絵本 おにのめん	川端 誠	クレヨンハウス	779
7	鬼の橋	伊藤 遊	福音館書店	913
8	千年鬼	西條 奈加	徳間書店	913
9	鬼の話	はまみつを	小学館	913
10	オニの子・ブン	山中 恒	理論社	913
11	すみ鬼にげた	岩城 範枝 (作)	福音館書店	913
12	おにはそと! ふくはうち!	いもとようこ	金の星社	913
13	ソメコとオニ	斎藤 隆介	岩崎書店	913
14	鬼の会議 (新・今昔物語絵本)	立松 和平 (文)	新樹社	913
15	オニババ対ヒゲ	tupera tupera/ 細田 守 共著	KADOKAWA	913
16	オニのサラリーマン しゅっちょうはつらいよ	富安 陽子	福音館書店	913
17	泣いた赤おに	浜田 廣介	偕成社	913
18	おにのかたなかじ (ふるさとの民話1)	松谷 みよ子 (文)	草土文化	913